

双葉町立認定こども園・義務教育学校 基本理念・方針



「世界にひとつの双葉の学校」保育・教育理念

「せかい」を創る「わたし」を育む

「せかい」とは “world (世界)”、“field (得意分野)”、“society (社会)”

学習の主体者である「わたし」が、「好きなこと・得意なこと・やってみたいこと」に夢中になれる、また、自分の強み(自分らしさ)や背景等を自覚し、多様な世界で生きる他者と相互に作用しながら、国内にとどまらず世界をフィールドに活躍し、社会の担い手となる「わたし」を育む、そんなこども園・義務教育学校を目指します

ミッション (Mission) : 学校の役割

誰もが一人一人価値ある大切な存在として互いに認め合うことで、それぞれが自らの可能性を自覚し、自らの選択と行動によって生きる社会の実現を目指す担い手の育成

【背景】

東日本大震災と原子力発電所の事故による地域の「分断」、制限された避難生活、新たな地域コミュニティの形成(帰還した住民、移住した住民、多国籍の住民等)といった、これまでもこれからも双葉町が抱える背景を理解し、制限されることなく自由に学び、多様な価値観をもった他者と相互に作用し、未来を切り拓く力を育む必要があります

ビジョン (Vision) : 目指す学校像

「世界にひとつの双葉の学校」では、双葉から世界をフィールドに自らの選択と行動で社会を変えていける子どもを育てます。世界中の多様な価値観をもった他者と相互に作用しながら、未来を切り拓くために必要な資質・能力(4C)を以下のように捉え、子どもたち一人一人に4Cを育成できる学校を目指します。

Communication 相手の立場を理解し考えを言語等で伝えたり聴いたりする力

Collaboration 相手の特性を理解ししなやかに他者とつながる力

Critical Thinking 自己の経験や客観的データを基に多面的に考える力

Creation 自ら行動しゼロからイチ(新たな価値)を生み出す力

バリュー (Value) : 大切にする価値観

【子ども観】

子どもたちは「自ら成長し、周囲に働きかけ自己や『せかい』を構築していく驚くべき強さと力を生まれもっている」存在であるということ

【教育観】

①「個の多様性」を尊重した遊び・学びとなっていること、②子どもの「自己決定(選択、調整、振り返り等)」が保障されていること、③ワクワクする「環境設計」が行われていること

